

No	頁	章	節	項目	該当箇所	意見の内容	意見の理由	修正の有無	県の対応
1	22	3	1	福岡県の医師確保の施策（医師全体）に関するもの	<p>⑨産科・小児科の医師確保</p> <p>○政策医療の観点からも必要性の高い周産期医療における産科・小児科の医師を確保するために、当該診療科の医師の処遇改善に取り組む医療機関を支援します。</p> <p>また、産科医、小児科医が相対的に少ない地域等での医師確保に取り組みます。</p>	<p>○今、企業においては、後継者不足等での廃業・倒産の増加が問題となっているが、医療機関においても産科や小児科の医療機関の廃業が増加し、総合病院等の負担増が懸念されるとの情報もある。外来医療計画ともリンクした医師確保を進め、県民へのサービス低下を招かないよう対策を講じていただきたい。</p>	<p>○産科や小児科医療機関の不足は加入者への医療サービスの低下となるとともに少子化に拍車をかける要因ともなる。勤務医の労働条件改善とともに、保険者としては加入者へのサービス低下を招かないよう実効ある対策を要望する。</p>	無	<p>○ご要望の内容につきまして、本計画にも記載しておりますとおり、県では産科や小児科における医師確保対策に取り組んでまいります。</p>
2	22	3	1	福岡県の医師確保の施策（医師全体）に関するもの	<p>⑩医療勤務環境の改善</p> <p>○医師の離職防止や医療安全確保を図るため、県庁内に設置した「福岡県医療勤務環境改善支援センター」において、医療機関に対する勤務環境改善のための支援に取り組めます。</p> <p>また、令和6(2024)年4月1日から適用される医師の時間外労働時間の上限規制に対応するため、県医師会、福岡労働局と連携して、医療機関における医師の労働時間短縮に向けた取り組みを支援します。</p>	<p>○福岡県は医師少数区域を有するものの県全体としては全国3位の医師多数県であり、人口に比して医師数や医療機関が多いことから、医療需要が高いため、医師の不足や偏在への対策は必要であるが、入院期間の短縮や時間外受診の縮減、かかりつけ医の推奨等、医療従事者の負担軽減とともに県民の上手な医療のかかり方について県がリーダーシップを発揮して対策を講じるよう要望する。</p>	<p>○福岡県は医師や医療機関が多い県であるが、現状の医療需要をベースとした対策だけでなく、患者が上手な医療のかかり方をすることで、医師の働き方改革にもつながるものと思われる。</p>	無	<p>○本県では、現行の福岡県保健医療計画に基づき、医療機関を受診する前の県民電話相談（#7119、#8000）を実施するとともに、かかりつけ医の普及を図っています。</p> <p>ご要望の内容につきましては、医師の勤務環境改善や働き方改革にも結び付き、医師確保を行う上でも非常に関係が深いものと認識しておりますが、医師確保の点だけでなく、医療機関の機能分担、連携など医療提供体制の整備に関することでもあることから、福岡県保健医療計画改定の際の参考とさせていただきます。</p>